

公益社団法人 日本建築士会連合会 青年委員会体験ワークショップ IN 東京 クロスロードゲーム(CRG)

日時:平成31年3月3日(日)9:00~12:00

会場:一般社団法人 東京建築士会 東京都中央区日本橋富沢町11番1号 富沢町111ビル5階
TEL 03-3527-3100(代)

リーダーとして、引き出しを増やそう! ~「生き延びるか」「修羅場となるか」は、あなた次第!~

クロスロード(crossroad)とは、「十字路」、「岐路」、「分かれ道」のこと。
災害対応は、ジレンマを伴う重大な決断の連続です。例えば「人数分用意できない緊急食料をそれでも配るか」などカードを利用した手軽なグループゲームながら、参加者は、災害対応を自らの問題としてアクティブに考えることができ、かつ、自分とは異なる意見・価値観の存在への気づきも得られるゲーム。

【タイムスケジュール】

司会進行 工藤 博臣氏(秋田県建築士会青年委員会委員長)

◆ 9:00~ 9:05 司会兼開催挨拶 工藤 博臣氏(秋田県建築士会青年委員会委員長)

◆ 9:05~ 9:15 防災塾・だるま挨拶とCRGの説明 白田 克雄氏

クロスロードには堅苦しい決まりは特にないが、楽しく、自由に、かつ活発に意見交換出来る様にする。
このクロスロードゲームには正解はなく、みんなの意見に耳を傾ける訓練にもなる。

クロスロードの基本ルール



- ★「指定緊急避難場所」と「指定避難所」等について
- ★各種シミュレーション・ゲームの紹介
- ★参考フローチャート(災害時の各団体関係図)
- ★自助・共助・公助
- ★クロスロードゲーム設問集目次

- ◆ 9:15～ クロスロードゲーム体験ワークショップ 中村 俊光氏
 - ①クロスノートに書き込む(コメント用)
 - ②クロスチャートにグループの意見などを書き込む

ワークショップは中村コーディネーターの指示に従って進行してまいります。

- ◆ 9:15～9:25 アイスブレイキング ……ファシリテーターが進行
 - ①自己紹介
 - ②書記を決める
 - ③発表者を決める

- ◆ 9:25～10:25 グループ別クロスロードゲーム実践(前半の部)
 - ファシリテーターが設問を読み上げる
 - YES・NOカードでゲームスタート
 - 各人がYES・NOの理由を発表

仮定の立場例(もしもあなたが…)

- ・自治会役員
- ・自主防災組織リーダー
- ・避難所運営委員会メンバー
- ・自治体の担当者
- ・消防署、消防団
- ・自治会役員のOB・OG
- ・消防署、消防団のOB・OG
- ・医療看護関係のOB・OG
- ・自治体職員のOB・OG
- ・民生、児童委員
- ・福祉関係者
- ・通訳(外国語、手話)
- ・一般人
- ・要援護者
- ・その他



- ・一人暮らしの高齢者
- ・寝たきりの人
- ・身体、知的障害者
- ・妊産婦
- ・外国人
- ・その他

- ◆10:25～10:40 休憩

- ◆10:40～11:55 グループ別クロスロードゲーム実践(後半の部)
 - ファシリテーターが設問を読み上げる
 - YES・NOカードでゲーム再開
 - 各人がYES・NOの理由を発表

＝訓練を通じての「気づき(発見)」の共有＝

災害対応においては、必ずしも正解があるとは限らず、また、過去の事例が常に正解でないこともある。ゲームを通じ、それぞれの災害対応の場面で、誰もが誠実に考え対応すること。また、そのためには災害が起こる前から考えておくことが重要であることに気づくことが重要である。

- ◆11:55～12:00 閉会挨拶 公益社団法人 日本建築士会連合会 青年委員会 委員長 川嶋 和之氏

- ◆12:00 終了

《防災の3Kとは》 ← 認識する → 《災害時の3Hは》

防災の3K

- ・気付く
- ・考える
- ・行動する



災害時の3H

- ・非常事態
- ・引出し数
- ・避難行動

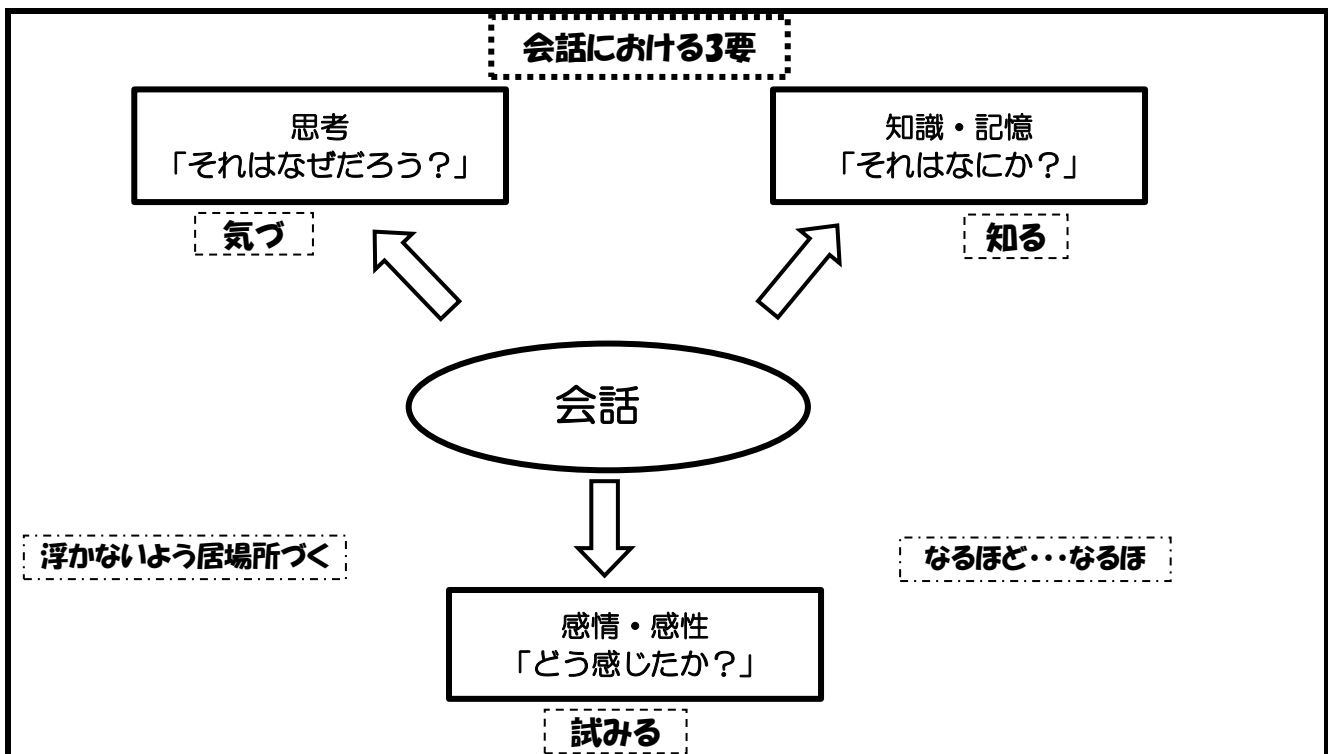


命の危険＝避難

	研修	ワークショップ
形式	講義中心	ディスカッション中心
姿勢	受講型	参加型
参加後	「教わった」	「見出した」
記憶	忘れる	自分の言葉で説明できる
変革	行動が変わらない	行動を変えていく

ワークショップ形式で展開する

- ルール: ①Yes/Noで答える ②設問の正解はない ③相手の意見を尊重 ④私語自粛



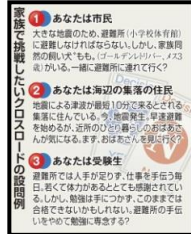
参考資料

内閣府等も推奨する防災(災害対応)シミュレーションゲームの数々

■クロスロードゲーム(CRG)⇒京都大学

特徴

1. 災害対応を自らの問題として考え、また、様々な意見や価値観を参加者同士が共有すること。
2. 災害対応においては、必ずしも正解があるとは限らず、また、過去の事例が常に正解でないこともある。ゲームを通じ、それぞれの災害対応の場面で、誰もが誠実に考え対応すること、また、そのためには災害が起こる前から考えておくことが重要であることに「気づく」ことが重要である。

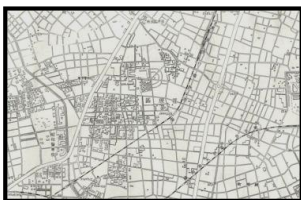


自治会・町内会関係、高齢者問題、職場など様々な事柄にアレンジして使えるシ

■災害図上訓練(DIG)⇒小村隆史等

特徴

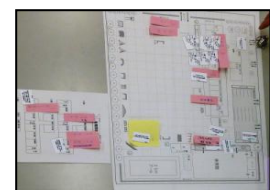
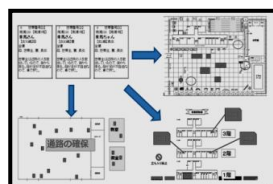
地図や見取り図に参加者自身が危険を予測される地帯または事態をシートの上書き込んでいく訓練のことである。リスク・コミュニケーションの手法のひとつ。これが、いわばハザードマップの役割を果たし、事前に危険を予測書き込みすることで、避難経路や避難場所等、自分の地域や住まい・職場に潜む災害の危険性を「見える化」し、災害を防ぐためにはどうすれば良いかをみんな考える防災訓練です。



■避難所運営ゲーム(HUG)⇒静岡県

特徴

地域住民等の避難状況に応じて、様々な事情をかかえた避難者のカードを、避難所に見立てた体育館や教室などの平面図に適切に配置することを通じて、避難所で起こる様々な問題やトラブルにどう対応するか等、避難所運営を事前に「熟知」して行く、模擬体験するゲームです。



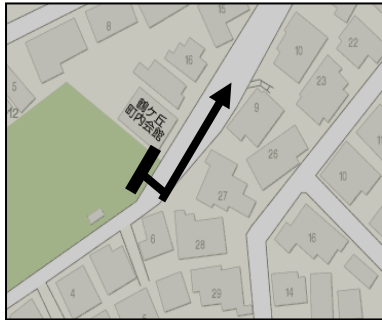
参考資料

自分の体を使った体験型防災まち歩き調査アクション

◆まち歩き防災ウォークラリー

防災ウォークラリーの開催目的は、地域住民の防災意識・知識の向上、災害時の避難経路の確認など体験を通して住んでいる地域を知り、参加した住民間のコミュニケーションを図る。

道路の曲がる地点のみが載った「コマ地図」を持って約3kmのルート歩きます。災害時に避難する経路や危険箇所を実際に歩きながら確認することで、災害時に備えます。途中チェックポイントでは防災クイズが出され、優秀なチームには賞品も出ますし、炊き出しもあります。



◆地域防災マップの整備

目的は各自治会・町内会単位を基準として、皆で地域を調査し、防災マップを作成し、地域の皆さんに知ってもらい、災害時の避難経路や消火活動などに対して、備えてもらう為に作成する地域のハザードマップです。(全戸配布)
また、各自治会・町内会の地域防災拠点位置も印ま
なお、一定期間に見直し作業も必要です。



各町内会別の防災マップ



◆防災クイズゲーム

あらゆる防災に関する知識を吸収するために、行うゲーム。設問・解答集はあるが、現状では実行には至っていない。

設問例:

29★外出している時、大地震が起きた場合、次のうちから一番適切な避難場所は？

- A. コンビニエンスストア
- B. ガソリンスタンド
- C. 交番

正解はBの「ガソリンスタンド」



解説 ガソリンスタンドは危険物を扱っていますが、建物自体は消防法等で定められている強固な建築物で、答えの中では一番適切な場所です。阪神・淡路大震災でも実証済み。

【南区】指定緊急避難場所の指定状況 例

(凡例 ○:避難可能 2階以上:2階以上が避難可能 ×:避難不可 -:区内に高潮の影響なし)

学 校 名	住 所	図面 (※1)	種別 (※2)	棟番号		対象とする異常な現象の種類			
						洪水	崖崩れ、土石流及び地滑り	高潮	地震
南中学校	南区六ツ川一丁目14番地	図面	校舎	1	1	○	○	-	○
			校舎	6		○	×	-	○
			校舎	17		○	×	-	○
			校舎	26		○	×	-	○
			体育館	27		○	○	-	○
別所小学校	南区別所六丁目3番1号	図面	校舎			○	○	-	○
			体育館	2	1	○	○	-	○
蒔田中学校	南区花之木町2丁目45番地	図面	校舎	9		2階以上	○	-	○
			校舎	14	1	2階以上	○	-	○
			体育館	7		×	○	-	○
大岡小学校	南区大橋町3丁目49番地	図面	校舎	14	1	2階以上	○	-	○
			校舎	14	4	2階以上	○	-	○
			体育館	14	2	×	○	-	○
井土ヶ谷小学校	南区井土ヶ谷上町2番1号	図面	校舎	4		○	○	-	○
			校舎	6		○	○	-	○
			校舎	13		○	○	-	○
			校舎	15	2	○	○	-	○
			校舎	18		○	○	-	○
			体育館	22		○	○	-	○
永田中学校	南区永田みなみ台7番1号	図面	校舎	1		○	×	-	○
			校舎	2		○	×	-	○
			校舎	3	2	○	○	-	○
			校舎	9		○	×	-	○
			体育館	4	1	○	×	-	○
六つ川小学校	南区六ツ川三丁目4番12号	図面	校舎	1		○	×	-	○
			校舎	3		○	×	-	○
			校舎	6	1	○	×	-	○
			体育館	6	2	○	×	-	○

※学校全体ではなく、校舎や体育館の棟ごとに指定しています。なお、棟番号は図面の1枚目で確認できます（番号は任意の数字です）。

横浜市立南中学校の例



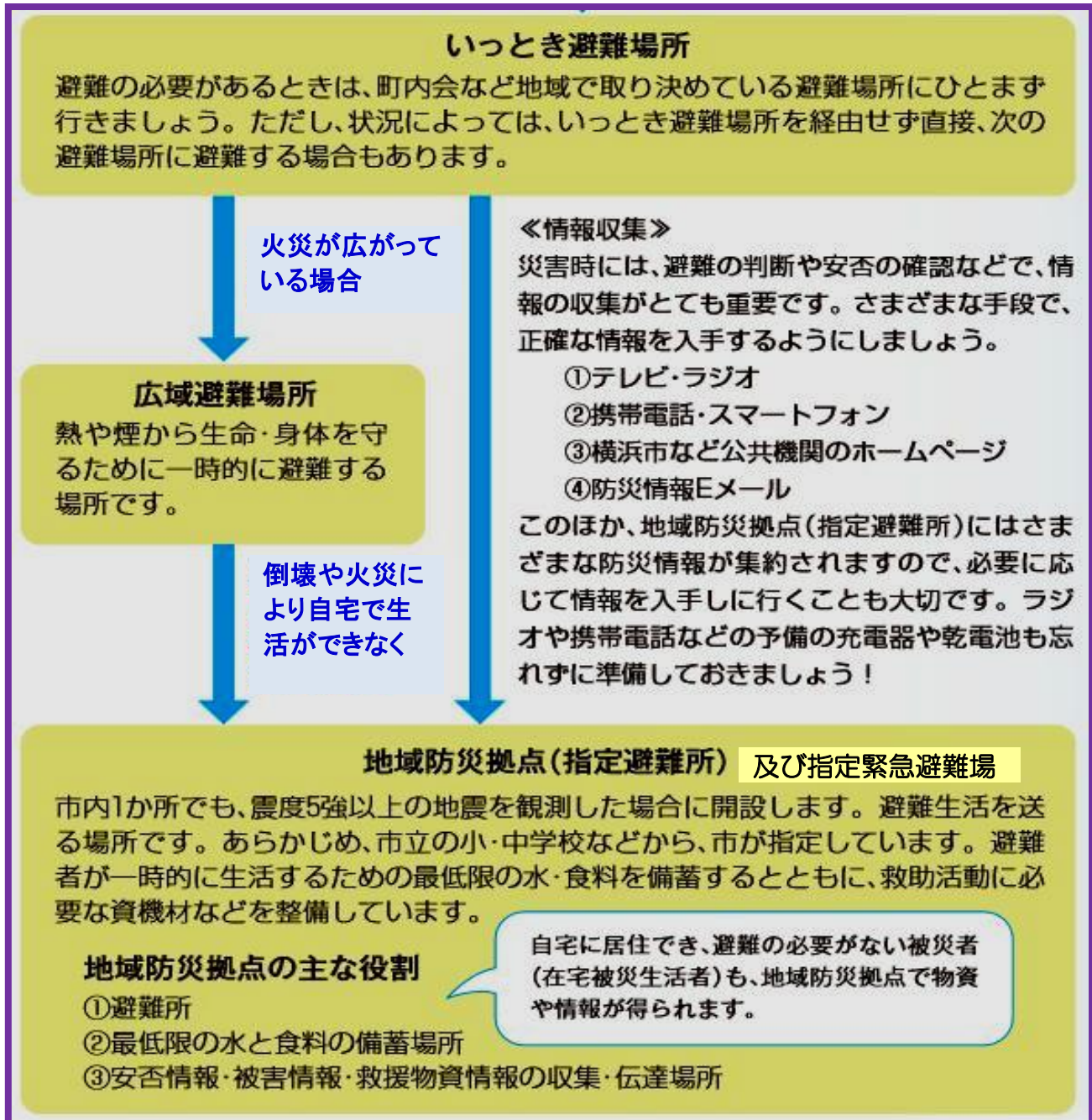
参考資料

地震等災害に備えて、避難場所と避難ルートをしっかり確認

地震により、自宅に被害があるときや火災の危険があるときは、避難場所まで避難しましょう。



周りの状況に応じて、避難ルートを考えましょう。



●災害発生時に備えて、ハザードマップで避難場所などを確認しておきましょう。

■福祉避難所

市町村が必要に応じて保健福祉センターや民間の福祉施設などに開設する二次的な避難所。障害者や高齢者、妊産婦や乳幼児、病弱な人とその家族らのうち、一般の避難所生活が困難な人が対象となる。まずは配慮が必要な人も一般避難所で生活し、その後、自治体側が対象者を選ぶ。

【いつとき避難場所】災害が発生した時に一時的な避難所として指定されている場所。地域が任意で決めることができます。自治会や班、隣近所などで話し合い、決めておきましょう。公園や広場が指定されていることが多い。一時集合場所は「広域避難場所」や「指定避難所」へ移動する前の中継地点となっており、各自・各家庭が一時避難場所に集まってから、集団行動で広域避難場所や「指定避難所」へと避難する。◆集まった人たちで、お互いに安否情報や被害情報を共有する。◆集まった人たちが協力して、近所の高齢者や障害者等とともに地域防災拠点へ避難する。

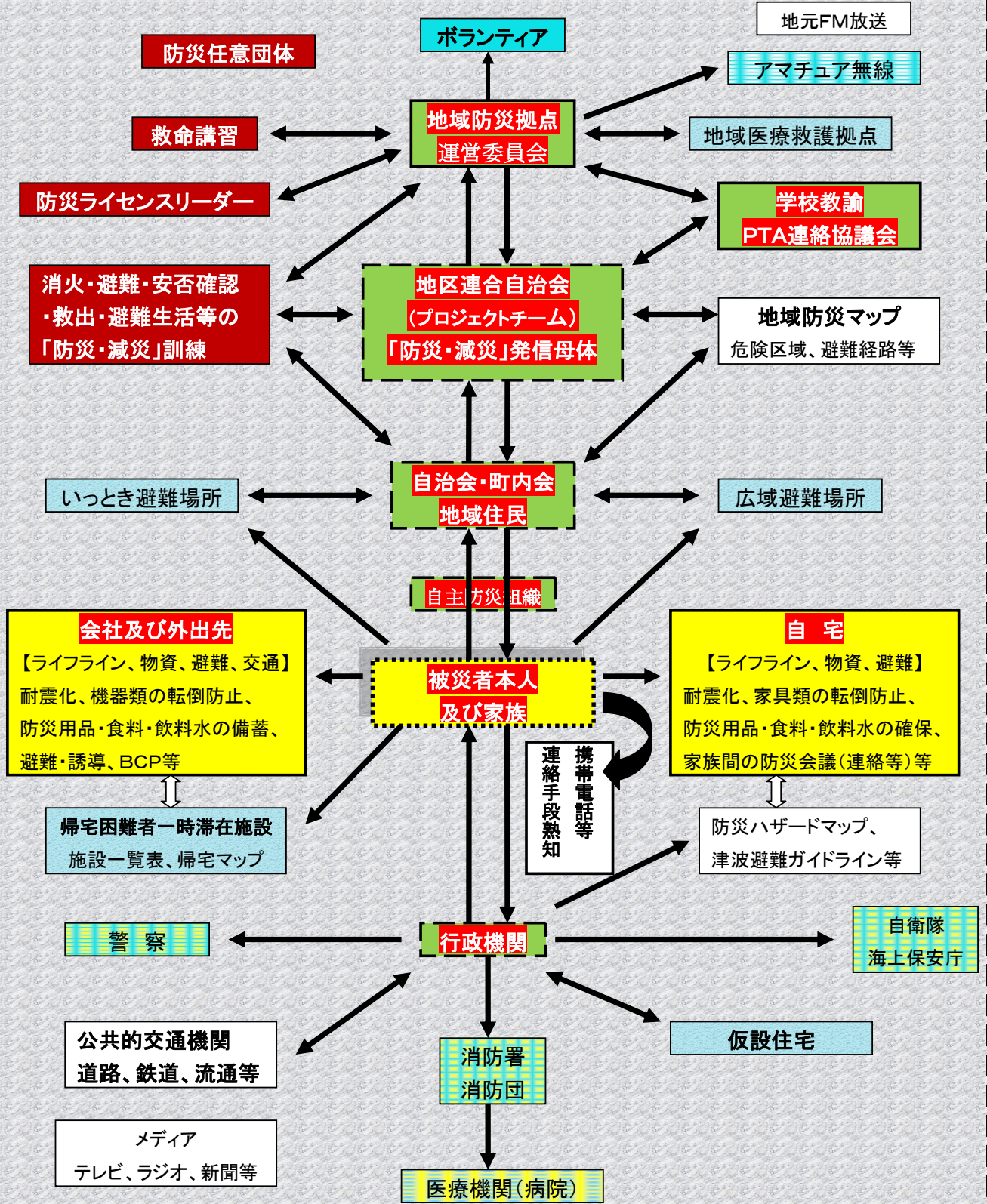
【広域避難場所】行政上の広域避難場所は「地震などによる火災が延焼拡大して地域全体が危険になったときに避難する場所」のことを指す。一時避難場所が危険になった際に、この広域避難場所に集団で避難してくる。その大きさは、火災の輻射熱から身体を守るためにおよそ10ヘクタール(30,250坪)以上が必要だとされている。

【指定避難所＝地域防災拠点とは】震災時の避難場所となる地域防災拠点(市内の小・中学校)は、自治会・町内会が中心となって組織する運営委員会が、「震災時避難場所(避難所での避難生活)」と「被災地域の防災本部」の2つの機能を持ち合わせた拠点を運営する場所です。この地域防災拠点では、避難所の開設、避難者となる住民の受け入れ、避難生活をおくるための生活基盤の形成だけでなく、地域の被害状況の把握及び区災害対策本部への情報の伝達、備蓄資機材を使用した救出・救護活動、在宅被災者の援護など、被災地となった際の地域におけるさまざまな震災対応に対して、運営委員会と避難者が互いに協力し、住民自治を形成しながら担っていくこととなります。

【指定避難所＝地域防災拠点の訓練とは】各地域防災拠点の訓練では、未だ、「消火器の取り扱い」「三角巾」「ロープ結索」など、個人のスキルアップを目的とした「防災指導型訓練」を主として行っている防災拠点があります。このような訓練は、自治会・町内会単位で消防署に依頼すれば実施が可能です。また、一年に一回開催する震災時避難場所としての訓練を行う場でこのような訓練を繰り返し実施することは、震災時に避難生活を余儀なくされた場合の地域住民にとっては、大きな損失となります。このため、各地域防災拠点の訓練は、避難所としての避難者の受け入れや、開設・運営に係る訓練に切り替えていかなければなりません。本市では、平成21年12月、地震等の災害発生時に各運営委員会が円滑に避難所の開設・運営ができるよう「地域防災拠点運営要領(DVD)」及び平常時の訓練の実施要領を定めた「地域防災拠点訓練マニュアル」を作成してきましたが、この度の東日本大震災の発生により、震災による初めての避難所開設の経験をした現在では、これらの教訓を踏まえて、住民が避難所生活をおくるための効果的な開設・運営の訓練を行うことを目的とします。

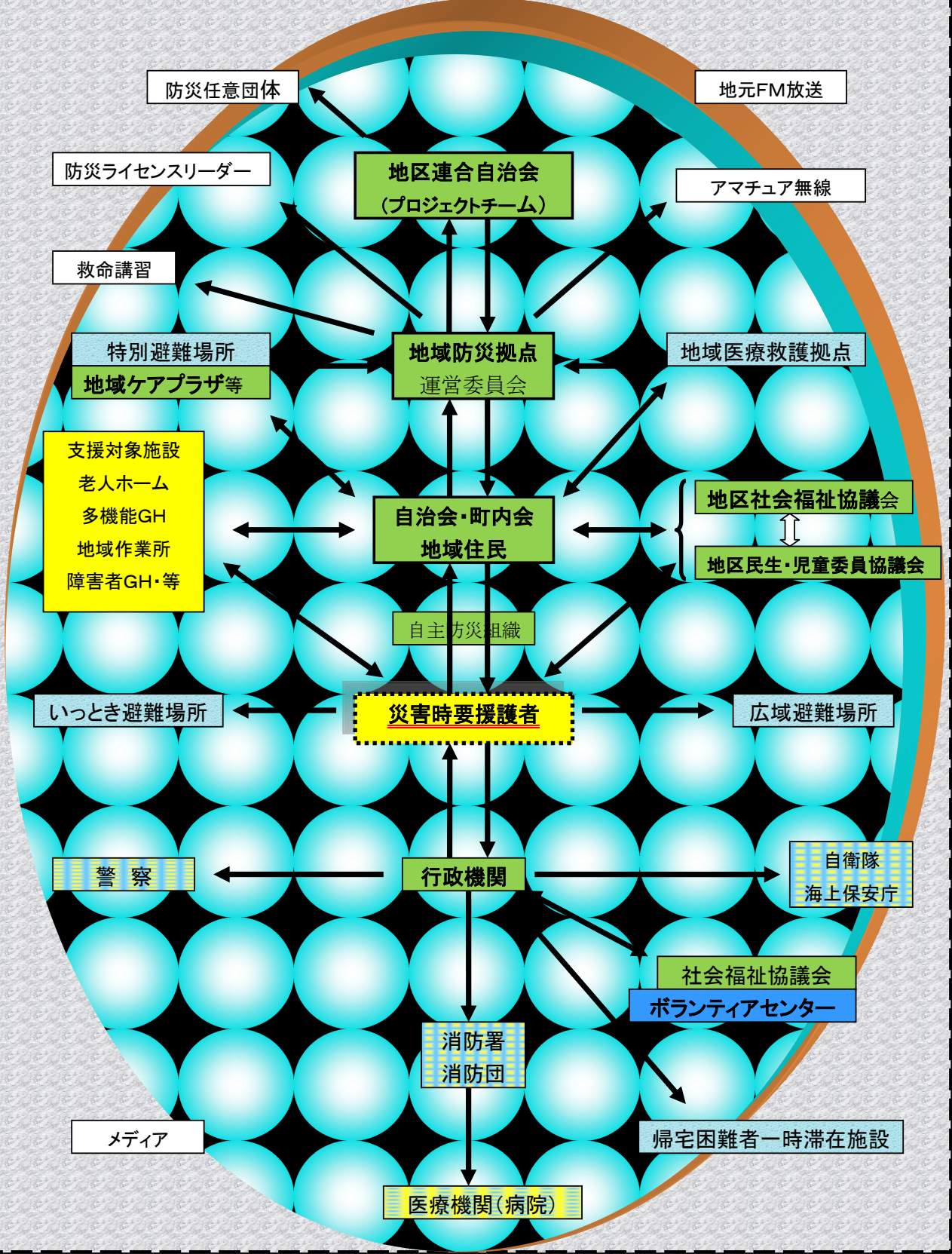
災害被災者と防災活動体系の参考フローチャート

【地震・土砂災害・風水害と社会活動の自助・共助・公助】構築されているか



災害時要援護者支援体系の参考フローチャート

【自助・共助・公助】構築されているか



自助・共助・公助とは

【重要度＝円の大きさとで図る】

共助とは
「地域コミュニティで支え合って解決して行きましよう！」ということです。

自助とは
「自分たちでできることは自分たちでやってみましよう！」ということです。

要援護者支援体制の確立

自助

自分で自分や家族を守る



日頃から家族で話し合い チェックしておきましょう

- 自宅の耐震診断・補強、家具の固定
- 地震が起きたら、どう行動するか
- ハザードマップを使って地域の特性や避難所の場所などを確認
- 食料と水の備蓄
- 非常持出品の準備と保管場所
- 災害時の連絡方法

各区のタウンページに記載

自分で情報を得る

防災知識・意識と災害特性の確認

避難経路の確認

共助

地域や事業者が助け合って守る



- 地域の防災活動
- 皆で まちの安全点検
- 事業者と地域の連携
- 災害時には、助け合って救出、初期消火

地域への発信力

学校との連携

防災拠点等の整備と防災資機材の取扱い

公助

行政による
防災・減災対策

- 公共施設を整備・拡充し、災害に強いまちづくりを推進
- 自助・共助を支援し、地域の安全を確保する

公助とは
・ 自助や共助では解決できないことを行政が支援することです。
・ 共助の力を広げるための行政による支援です。



自助：共助：公助＝7：2：1

クロスロードゲーム設問集

悩ましい問題を抽出する

CRGのルール【基本的に正解はない、相手の意見を拒否しないで尊重する】気づく



《なお、防災・防犯の設問は各クイズ集にある。参考に用語集もあります》

ジレンマは他の分野でアレンジすれば例題は広がる

どうしようか



目次(設問項目)

あなたならどうする!

◆避難所関係 設問34問	-----	2~ 6
◆学校・行政関係 設問23問	-----	7~ 9
◆ボランティア関係 設問16問	-----	10~11
◆自治会・町内会の役員関係 設問22問	-----	12~14
◆会社(組織)関係 設問28問	-----	15~18
◆一般住民関係 設問14問	-----	19~20
◆一般主婦関係 設問13問	-----	21~22
◆一般男性関係 設問5問	-----	23~23
◆高齢者の関係 設問8問	-----	24~24
◆福祉施設の責任者関係 設問8問	-----	25~26
◆福祉施設の介護職員関係 設問19問	-----	26~28
◆介護施設の入居者関係 設問8問	-----	29~29
◆障害者の家族関係 設問8問	-----	30~30
◆親の介護関係 設問9問	-----	31~32
◆観光客関係 設問1問	-----	33~33
◆病院の職員関係 設問1問	-----	33~33
◆学生の部活関係 設問1問	-----	33~33
◆集会所の責任者関係 設問1問	-----	33~33
◆保育関係 設問1問	-----	33~33
◆医療・新型インフルエンザ関係 設問17問	-----	34~35
◆社会人関係 設問13問	-----	36~37
◆介護施設等の不審者対応関係 設問10問	-----	38~39
◆民生委員・児童委員及び主任児童委員関係 設問8問	-----	40~40
◆防犯関係 設問8問	-----	41~41
◆防災関係 設問17問	-----	42~45
◆その他諸々関係 設問16問	-----	45~47

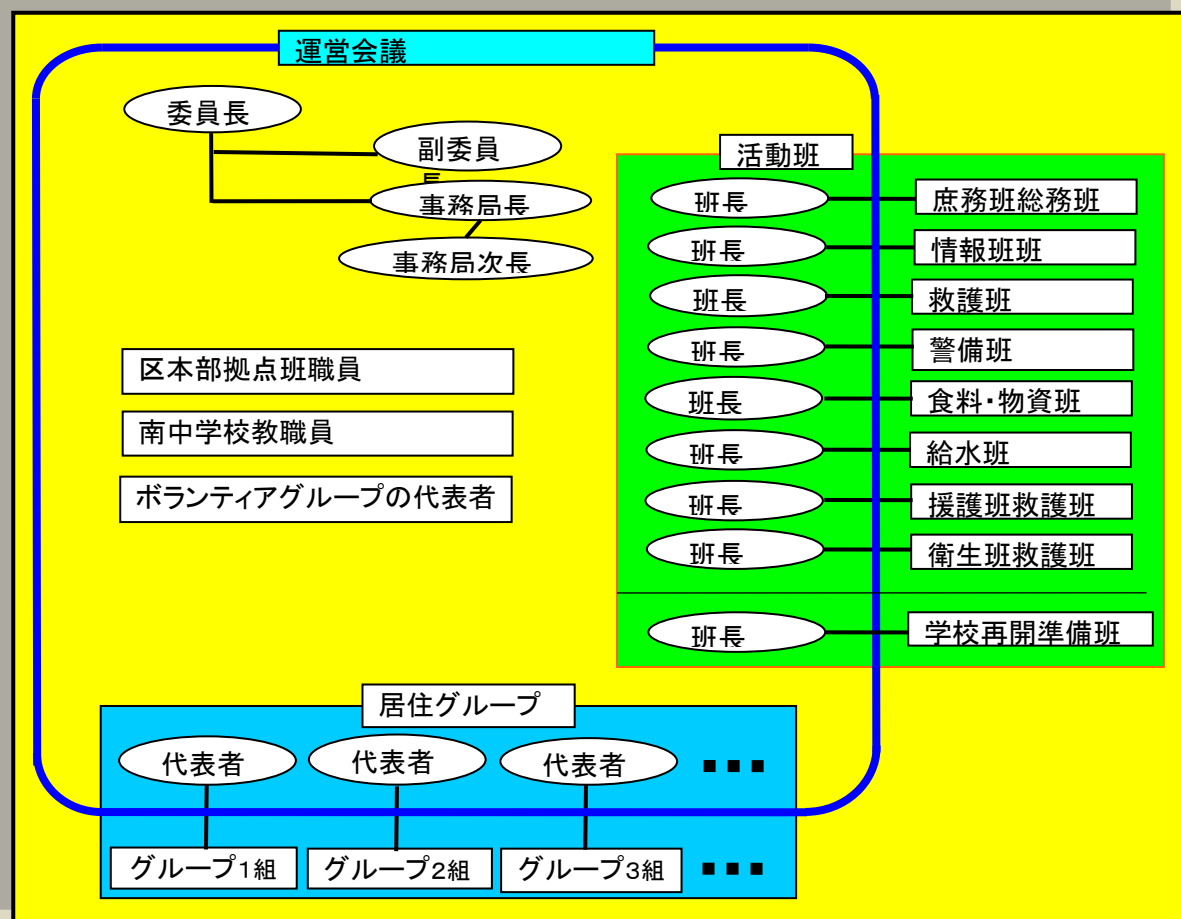
避難所（地域防災拠点）運営委員会とは

避難所（地域防災拠点）運営委員会（以下「運営委員会」という）とは、地震などの大規模災害が発生して小中学校が避難所になった時、地域住民・行政・学校がお互いに協力して、円滑な避難所運営を行うための組織である。

1 運営委員会の活動

運営委員会は、震災発生時の混乱と動揺の中で、円滑な活動ができるように、避難所（地域防災拠点）運営マニュアル（以下「運営マニュアル」という。）を作成し、日ごろから、避難所運営の研修や防災資機材の使用訓練などを行い、地域防災力の向上に努める。

2 避難所（地域防災拠点）運営委員会の組織（一例）



★地域防災拠点運営委員会の運営組織・運営方法や班構成、支援員・協力員募集、独自の運営マニュアルなど、拠点によって温度差が非常にあり、携わる立場の人によっても大きな格差が生じています。

避難所（地域防災拠点）運営委員会の設置、運営

◇活動目的

震災時避難場所では安全かつ秩序ある避難生活の維持や防災資機材を活用した救助・救出等を、地域・学校・区役所で構成された「避難所（地域防災拠点）運営委員会」により行ないます。



▲運営委員会の活動状況
(テント型トイレの組立て訓練)

1. 震災時の主な活動

- (1) 鍵の解除、建物の安全確認
- (2) 避難時場所開設、避難者受付・区割・誘導
- (3) 負傷者の応急手当、高齢者、障害者等要援護者の援護
- (4) 家族の安否確認、防災資機材等を活用した救助
- (5) 仮設トイレや災害時下水直結式仮設トイレの設置
- (6) 食料、救援物資等の配布
- (7) 災害用地下給水タンク（応急給水栓）の設営

2. 平常時の主な活動

- (1) 避難所運営マニュアルの作成 **(各班ごとの役割)**
- (2) 防災資機材等の取扱講習及び防災研修会の開催
- (3) 防災訓練の実施
- (4) **防災備蓄庫の点検・管理**
- (5) **拠点運営費の使途及び管理（補助金額が適正か？）**

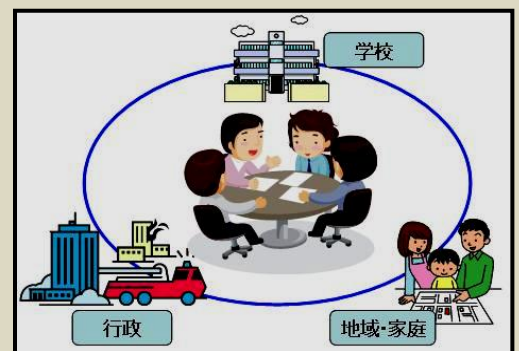
また、各区内の運営委員会相互の連絡及び連携を図るため「避難所（地域防災拠点）運営委員会連絡協議会」を結成しています

（エンジンカッターの活動状況
の取扱訓練）



3. 主な運営委員会メンバー

- (1) 学校教職員（2名）
- (2) 区役所職員（2名）
- (3) 消防署員（1名）
- (4) 消防団員（2名）
- (5) 地域ケアプラザ職員（1名）
- (6) 地域住民（拠点によって違う）



4. 今後の課題

- (1) 小中学生の防災教育・訓練参加と戦力化
- (2) 運営委員以外の支援員・協力員の確保
- (3) 班の組織と人事構成及び各自のレベルアップ
- (4) 各関係機関との連携及び各機関のレベルアップなど
- (5) 要援護者支援対策
- (6) 地域の防災リーダーの養成

防災クイズ【防災豆知識】解答編

93★崖から水が湧き出していたらどんな危険性があるのでしょうか？

- A. 土砂流
- B. がけ崩れ
- C. 地すべり



正解はBの「がけ崩れ」

解説 がけ崩れの危険性があります。そのほかの前兆には、がけに亀裂が入る、がけから小石が落ちてくるといったものがあります。

98★山鳴りや雨が続けているのに川の水位が下がる状態にあるときに、起こりうることは、次のうちどれでしょう？

- A. 土砂流
- B. がけ崩れ
- C. 地すべり



正解はAの「土砂流」

解説 このような状態のときは、土砂流の危険性があります。十分注意しましょう。

99★地面にひびが入ったり、井戸の水が濁ってきたときに起こりうることは、どれでしょう？

- A. 土砂流
- B. がけ崩れ
- C. 地すべり



正解はCの「地すべり」

解説 地滑りの危険性があります。危険なのでその場から離れて安全な場所に避難しましょう。

195★災害時に被害家屋で居住が可能か、行政側の依頼で調査し判定を行っておりますが、その判定の資格がある人達を、何と呼ぶのでしょうか？

- A. 建築物応急危険度判定士
- B. 土地建物取引主任者
- C. 土地家屋鑑定士

識 別		
赤色(Ⅰ)	黄色(Ⅱ)	緑色(Ⅲ)

正解はAの「建築物応急危険度判定士」

解説 応急危険度判定は、地震などで倒壊の危険がある建物を利用して、余震などで二次被害に遭うことを防ぐために、認定された建築技術者が判定を行う制度です。この応急危険度判定士になるには、所定の有資格者（一級、二級の建築士資格の所有者など）が市町村で開催される講習に参加し、認定を受ける必要があります。また、判定結果は、三色のステッカーで表示され、ステッカーは建物の出入り口など、所有者、管理者、付近の人が見やす